

【分野】 専門基礎分野 人体の構造と機能

【科目】 構造と機能学 I-2

## 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	佐藤 亨子	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	1 学期	授業形態・回数	講義	12回

## 【授業情報】

授業概要	個体の生命を維持するために必要な、人体の構造と機能の基本知識を習得する。
授業の一般目標 (GIO)	ホメオスタシスに欠かせない脈管、および、泌尿器の構造と働きを学び、生命維持に必要な仕組みを理解する。

## 【担当教員から】

教科書	解剖学・生理学 東洋療法学校協会編 (医歯薬出版株式会社)
参考書	ぜんぶわかる人体解剖図
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 学期末試験にて評価を行う。
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	教科書、参考書を基に予習・復習を行うこと
履修にあたっての留意点	・教科書に載っている用語の理解のために予習をしておくことを勧めます。 ・図を模写することで理解が深まるので積極的にスケッチを行ってください。

【授業計画】 構造と機能学 I-2 2021年度 I 部鍼灸科



【分野】 専門基礎分野 人体の構造と機能

【科目】 構造機能学Ⅱ-2

## 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	中田 智之	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	1 学期	授業形態・回数	講義	12回

## 【授業情報】

授業概要	頭部を構成する骨格・筋の基礎的な構造と機能を理解すると共に特殊感覚器を理解する。
授業の一般目標 (GIO)	頭部の骨・筋・脈管・神経についての基本構造や役割について習得する。さらに、特殊感覚器について習得する。

## 【担当教員から】

教科書	解剖学・生理学 東洋療法学校協会編 (医歯薬出版株式会社)
参考書	ぜんぶわかる人体解剖図
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用 学期末試験にて評価を行う。
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	教科書、参考書を基に予習・復習を行うこと
履修にあたっての留意点	・教科書に載っている用語の理解のために予習をしておくことを勧めます。 ・図を模写することで理解が深まるので積極的にスケッチを行ってください。



## 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	佐藤 亨子	
単位数	2 単位		実務経験	
開講学期	2 学期・3 学期	授業形態・回数	講義	24回

## 【授業情報】

授業概要	感染症、呼吸器疾患、循環器疾患、血液・造血器疾患および消化器系疾患について、各々病態別分類、代表的疾患、疫学、診断および治療を概説する。
授業の一般目標 (GIO)	感染症、呼吸器疾患、循環器疾患、血液・造血器疾患および消化器系疾患について、各々病態別分類と代表的疾患（診断名）について説明できる。

## 【担当教員から】

教科書	東洋療法学校協会編/臨床医学各論第2版. 医歯薬出版
参考書	医療情報科学研究所/編集. 病気がみえるVol.1 消化器 第5版, Vol.2 循環器 第3版, Vol.4 呼吸器 第2版, Vol.5 血液, メディックメディア, 東京
成績評価基準	評価の観点は1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。          (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	
履修にあたっての留意点	

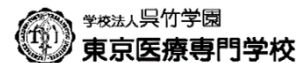
【授業計画】 臨床医学 I 2021年度 I 部鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
2期	13	【循環器疾患1】 ●心不全	心不全の病態と主要徴候について説明できる。	講義
	14	【循環器疾患2】 ●弁膜疾患 (MS, MR, AS, AR)	主要な心臓弁膜疾患について、原因と症状・所見を説明できる。	講義
	15	【循環器疾患3】 ●不整脈 ●先天性心疾患 ●動脈硬化 ●大動脈瘤・大動脈解離	不整脈、先天性心疾患および動脈硬化および大動脈瘤・大動脈解離の概略を述べるができる。	講義
	16	【循環器疾患4】 ●虚血性心疾患/冠動脈疾患 ●血圧異常	虚血性心疾患の分類と病態について説明できる。血圧異常を分類し説明できる。	講義
	17	【血液・造血器疾患1】 ●貧血	貧血を鉄欠乏性、巨赤芽球性、溶血性および再生不良性に分類し、各々の特徴と原因疾患を述べるができる。	講義
	18	【血液・造血器疾患2】 ●リンパ網内系疾患 ●出血傾向	白血病、悪性リンパ腫の概略を述べるができる。出血傾向について、主な原因疾患とその特徴を説明できる。	講義
	19	【感染症】 ●総論 ●細菌感染症 ●ウイルス感染症	感染症の総論、および主要な細菌感染症、ウイルス感染症、および性感染症 (STD) について概要を説明することができる。	講義
	20	【呼吸器疾患1】 ●感染性疾患	呼吸器の感染性疾患について、主要なものを挙げ病態を説明できる。	講義
	21	【呼吸器疾患2】 ●閉塞性呼吸器疾患	閉塞性呼吸器疾患の病態を理解し、主要なものについて病態を説明できる。	講義
	22	【呼吸器疾患3】 ●拘束性呼吸器疾患 ●気胸	拘束性呼吸器疾患および気胸について、病態を理解し説明できる。	講義
23	試験		試験	
24	試験の解説	形成的評価におけるフィードバックを受け、試験問題における理解不十分な箇所を挙げるができる	講義	
3期	25	【呼吸器疾患4】 ●肺癌 ●気管支拡張症	肺癌を分類し、各々の特徴を説明できる。気管支拡張症の病態について説明できる。	講義
	26	【消化器疾患1】 ●口腔疾患 ●食道疾患	主要な口腔疾患、食道疾患について、種類を挙げて各々の特徴を述べるができる。	講義
	27	【消化器疾患2】 ●胃・十二指腸疾患	主要な胃・十二指腸疾患について、種類を挙げて各々の病態を述べるができる。	講義
	28	【消化器疾患3】 ●潰瘍性大腸炎・クローン病 ●過敏性腸症候群 ●虫垂炎	主要な腸の炎症性疾患、および機能性疾患を挙げ、各々の特徴を説明できる。	講義
	29	【消化器疾患4】 ●大腸癌 ●腸閉塞 ●腹膜炎	大腸癌、腸閉塞および腹膜炎について、各々病態の概略を説明できる。	講義
	30	【消化器疾患5】 ●肝疾患① (ウイルス性肝炎)	ウイルス性肝炎の分類、各々の特徴について説明できる。	講義
	31	【消化器疾患6】 ●肝疾患② (アルコール性肝障害、肝硬変、肝癌)	アルコール性肝障害、肝硬変および肝癌について病態を説明できる。	講義
	32	【消化器疾患7】 ●胆疾患	主要な胆・胆道疾患の病態について説明できる。	講義
	33	【消化器疾患8】 ●膵臓疾患	主要な膵臓疾患について、病態を説明できる。	講義

34	履修内容の総括	2期・3期をとおして学習した内容を振り返り、知識の定着・統合につながる学習計画を立てることができる。	講義
35	試験		試験
36	試験の解説	形成的評価におけるフィードバックを受け、試験問題における理解不十分な箇所を挙げるができる。	講義

## 2021年度 I 部鍼灸科

### 【分野】 専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進



### 【科目】 臨床医学Ⅱ

#### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	三村 直巳	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	3 学期	授業形態・回数	講義	12回

#### 【授業情報】

授業概要	腎・泌尿器疾患、内分泌疾患、代謝疾患、および免疫異常・膠原病（アレルギーを含む）について病態別分類、代表的疾患、疫学、診断および治療を概説する。診断に用いられる主要な臨床検査項目について概説する。
授業の一般目標 (GIO)	腎・泌尿器疾患、内分泌疾患、代謝疾患、および免疫異常・膠原病（アレルギーを含む）について、各々病態別分類と代表的疾患（診断名）について説明できる。主要な臨床検査項目について診断的意義を説明できる。

#### 【担当教員から】

教科書	東洋療法学校協会編/臨床医学各論第2版. 医歯薬出版
参考書	医療情報科学研究所/編集. 病気がみえるVol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版, Vol.6 免疫・膠原病・感染症, Vol.8 腎・泌尿器, メディックメディア, 東京
成績評価基準	評価の観点は 1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満  成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	

履修にあたっての留意点

【授業計画】 臨床医学Ⅱ 2021年度 I部鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
2期	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
3期	25	【腎・泌尿器疾患1】 ●糸球体疾患 ●ネフローゼ症候群	急性・慢性糸球体疾患およびネフローゼ症候群の病態を理解し、主要な原因を挙げて説明できる。	講義
	26	【腎・泌尿器疾患2】 ●腎不全 ●感染性疾患 ●腎・泌尿器腫瘍	急性・慢性腎不全、腎・泌尿器の感性的疾患および腎・泌尿器腫瘍について、各々病態を理解し原因とともに説明できる。	講義
	27	【腎・泌尿器疾患3】 ●腎・尿路結石 ●前立腺疾患 【内分泌疾患1】 ●下垂体前葉疾患	腎・尿路結石および前立腺疾患の病態を理解し説明できる。 下垂体前葉について分類し、各々の病態を説明できる。	講義
	28	【内分泌疾患2】 ●下垂体後葉疾患 ●甲状腺疾患	下垂体後葉疾患、および甲状腺疾患について分類し、各々の病態を説明できる。	講義
	29	【内分泌疾患3】 ●副腎皮質疾患（クッシング症候群、原発性アルドステロン症、アジソン病） ●副腎髄質疾患（褐色細胞腫）	副腎疾患について分類し、各々の病態を説明できる。	講義
	30	【代謝・栄養疾患1】 糖代謝異常（糖尿病と合併症）	糖尿病について、分類、成因および病態を説明できる。	講義



31	【代謝・栄養疾患2】 ●脂質異常症 ●肥満およびメタボリックシンドローム ●高尿酸血症	脂質異常症の概念および診断基準、肥満とメタボリックシンドローム、および高尿酸血症の診断基準について説明できる。	講義
32	【免疫異常・膠原病1】 ●アレルギー性疾患と膠原病総論 ●RA	膠原病の概略を説明できる。主な膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、ベーチェット病、多発性筋炎/皮膚筋炎）を挙げ、各々の特徴を述べる事ができる。 アレルギーの概略を理解し、主な分類について説明できる。	講義
33	【免疫異常・膠原病2】 ●結節性多発動脈炎 ●SLE ●全身性強皮症		講義
34	【免疫異常・膠原病3】 ●ベーチェット病 ●多発性筋炎/皮膚筋炎 ●リウマチ熱		講義
35	試験		試験
36	試験の解説	形式的評価におけるフィードバックを受け、試験問題における理解不十分な箇所を挙げる事ができる。	講義

## 2021年度 I 部鍼灸科

【分野】

専門基礎分野

疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進



学校法人 呉竹学園

東京医療専門学校

【科目】

臨床医学Ⅲ

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	中田 智之	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	2 学期	授業形態・回数	講義	12回

### 【授業情報】

授業概要	主要な整形外科疾患、中枢神経系・末梢神経疾患について、各々病態、疫学、診断および治療を概説する。
授業の一般目標 (GIO)	主要な整形外科疾患、中枢神経系・末梢神経疾患について、各々病態、疫学、診断および治療を説明できる。

### 【担当教員から】

教科書	東洋療法学校協会編/臨床医学各論第2版. 医歯薬出版
参考書	医療情報科学研究所/編集. 病気がみえるVol.7 脳・神経, Vol.11 整形外科, メディックメディア, 東京
成績評価基準	評価の観点とは 1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、課題の提出、授業中の小テストおよび学期末に行う期末試験で評価する。

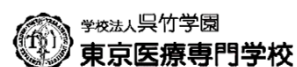
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	予習課題を出すことがあり、課題の提出を成績に加味する。
履修にあたっての留意点	

【授業計画】 臨床医学Ⅲ 2021年度 I部鍼灸科					
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態	
1期	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
2期	13	【整形外科疾患1】 ●関節疾患（関節炎・可動域の異常、五十肩） ●関節疾患（変形性関節症）	主な関節疾患の概要を述べる事ができる。五十肩および変形性関節症の病態を説明できる。	講義	
	14	【整形外科疾患2】 ●骨代謝性疾患（骨粗鬆症、くる病・骨軟化症） ●骨腫瘍	骨の代謝性疾患および骨腫瘍について、各々の病態と特徴を説明できる。	講義	
	15	【整形外科疾患3】 ●筋・腱疾患（狭窄性腱鞘炎） ●形態異常（発育性股関節形成不全、斜頸、側弯症、外反母趾、内反足）	狭窄性腱鞘炎の病態、および主な形態異常について概要を説明できる。	講義	
	16	【整形外科疾患4】 ●外傷（骨折、脱臼、捻挫）	骨折、脱臼、捻挫の概要を説明できる。	講義	
	17	【神経疾患1】 ●脳血管疾患（虚血性病変）	脳血管障害のうち脳梗塞を原因・病態別に分類し、各々の特徴について説明できる。	講義	
	18	【神経疾患2】 ●脳血管疾患（出血性病変）	脳血管障害のうち、脳内出血およびくも膜下出血について、各々の病態・特徴を説明できる。	講義	
	19	【神経疾患3】 ●感染性疾患 ●脳腫瘍	中枢神経系の感染性疾患のうち、髄膜炎、神経梅毒、ポリオの概略を説明できる。脳腫瘍を分類し、概略を述べる事ができる。	講義	
	20	【神経疾患3】 ●変性疾患（基底核疾患、認知症）	基底核変性疾患、認知症について主な疾患とその特徴を説明できる。	講義	
	21	【神経疾患4】 ●筋疾患 ●運動ニューロン疾患	筋疾患および運動ニューロン疾患の概略を理解し、主な疾患について説明できる。	講義	
	22	【神経疾患5】 ●末梢神経疾患	ギランバレー症候群、および種々の末梢神経障害について、概要を説明できる。	講義	
	23	試験			試験
	24	試験解説		形成的評価におけるフィードバックを受け、試験問題における理解不十分な箇所を挙げる事ができる。	講義

3期	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
	31			
	32			
	33			
	34			
	35			
	36			

2021年度 I 部鍼灸科

【分野】 専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進



【科目】 臨床医学Ⅳ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	中田 智之	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	3 学期	授業形態・回数	講義	12回

【授業情報】

授業概要	神経痛・機能性疾患、一般外科、麻酔科、婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患、精神科疾患、心療内科および小児科疾患について、各々病態、疫学、診断および治療を概説する。
授業の一般目標 (GIO)	神経痛・機能性疾患、一般外科、麻酔科、婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患、精神科疾患、心療内科および小児科疾患について、各々病態、疫学、診断および治療を説明できる。

【担当教員から】

教科書	東洋療法学校協会編/臨床医学各論第2版. 医歯薬出版
参考書	
成績評価基準	評価の観点は1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、課題の提出、授業中の小テストおよび学期末に行う期末試験で評価する。

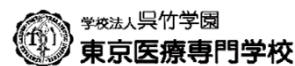
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	予習課題を出すことがあり、課題の提出を成績に加味する。
履修にあたっての留意点	

【授業計画】 臨床医学Ⅳ 2021年度 I部鍼灸科				
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
2期	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
25	【末梢神経疾患・神経痛・機能的疾患】	末梢神経疾患、三叉神経、肋間神経、坐骨神経、後頭神経痛、および頭痛の分類について説明できる。		講義
26	【一般外科1】	損傷概論、ショック、救急処置、心肺蘇生術について説明できる。		講義
27	【一般外科2】			
28	【麻酔科】	全身麻酔および局所麻酔について説明できる。		講義
29	【婦人科疾患】	子宮癌、乳癌、更年期障害、月経異常について説明できる。		講義
30	【皮膚科疾患】	接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、円形脱毛症について説明できる。		講義

3期	31	【眼科疾患】	さまざまな眼科疾患について説明できる。	講義
	32	【耳鼻科疾患】	メニエール病、中耳炎、突発性難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎について説明できる。	講義
	33	【精神科疾患】	神経症（神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害）、統合失調症、うつ病について説明できる。	講義
	34	【心療内科・小児科疾患】	心身症、神経性食欲不振症、過食症および小児科疾患について説明できる。	講義
	35	試験		試験
	36	試験の解説	形成的評価におけるフィードバックを受け、試験問題における理解不十分な箇所を挙げるができる。	試験

## 2021年度 I 部鍼灸科

【分野】 専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進



【科目】 病理学

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	難波 亜希	
単位数	2 単位		実務経験	
開講学期	1 学期 2 学期	授業形態・回数	講義	24回

### 【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾病の成り立ちを、細胞・組織レベルで理解する。</li> <li>・ 疾病を引き起こす原因についての基本を理解する。</li> </ul>
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾病の原因と、それにともなう細胞・組織の変化に関する知識を習得する。</li> </ul>

### 【担当教員から】

教科書	病理学概論
参考書	
成績評価基準	授業の理解度 基本的知識の修得 知識の習熟度と修得した知識の応用

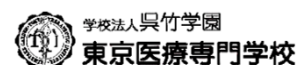
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	授業プリントを基に復習をすること
履修にあたっての留意点	臨床医学各論、衛生学と関連する項目があるので、教科書で確認すること。

【授業計画】 病理学 2021年度 I部鍼灸科				
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1	病理学の意義・病因論(内因)	病理学の定義を説明できる。	講義
	2	病因論(内因)	内因の具体例を挙げることができる。(免疫・遺伝に関しては2期)	講義
	3	病因論(外因)	栄養、物理学的、化学的外因を、具体例を挙げて説明できる。	講義
	4	病因論(外因)	生物学的外因を具体例を挙げて説明できる。	講義
	5	循環障害	充血・うっ血、貧血・虚血、出血について説明できる。	講義
	6	循環障害	血栓、塞栓、梗塞、水腫、脱水、ショックについて説明できる。	講義
	7	退行性病変	萎縮、代謝障害について具体例を挙げて説明できる。	講義
	8	退行性病変	壊死、老化、死について説明できる。	講義
	9	進行性病変	肥大・増殖、再生、化生、移植について説明できる。	講義
	10	進行性病変	創傷治癒、異物の処理を説明できる。	講義
	11	試験	2期試験	試験
	12	解説とまとめ	試験結果をフィードバックすることで理解を深める。	講義
2期	13	炎症	急性炎症の経過について説明できる。鍼灸理論で1期に学んだことと関連付けて説明できる。	講義
	14	炎症	慢性炎症の分類と、特異性炎について具体的に説明できる。	講義
	15	免疫とアレルギー	免疫の仕組みを基本から説明できる。	講義
	16	免疫とアレルギー	アレルギーと自己免疫疾患を説明できる。	講義
	17	腫瘍	腫瘍の定義と、組織学的な特徴を説明できる。	講義
	18	腫瘍	腫瘍の分類と、良性腫瘍、悪性腫瘍について特徴を説明できる。	講義
	19	腫瘍	腫瘍発生の諸段階、病期分類、整体に及ぼす影響を説明できる。	講義
	20	腫瘍	腫瘍の発生原因、治療と始発について説明できる。	講義
	21	先天異常	遺伝の基本を説明できる。代謝異常・遺伝子の異常による具体的疾患を挙げることができる。	講義
	22	先天異常	染色体の異常による疾患を挙げることができる。奇形とその原因を挙げることができる。	講義
	23	試験	3期試験	試験
	24	解説とまとめ	試験結果をフィードバックすることで理解を深める。	講義

3期	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
	31			
	32			
	33			
	34			
	35			
	36			

2021年度 I 部鍼灸科

【分野】 専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進



【科目】 診療の基本-2

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	松峰 理真	
単位数	3 単位		実務経験	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	授業形態・回数	講義	36回

【授業情報】

授業概要	診察から治療までの過程に必要な病気と症状を捉える医学的知識、かつ正しい所見を得るための正確な検査技能を概説する。
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疾患の症状や経過、および他の疾病との鑑別を理解する。</li> <li>・ 鍼灸臨床における病態把握、適不適応疾患の鑑別を理解する。</li> </ul>

【担当教員から】

教科書	臨床医学総論第2版 (医師薬出版)
参考書	診察と手技がみえる vol.2 (メディックメディア)

成績評価基準	評価の観点とは1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	
履修にあたっての留意点	

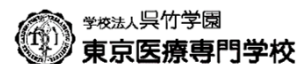
【授業計画】 診療の基本-2 2021年度 I 部鍼灸科				
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1	診察の概要	医学関連用語を説明できる。診察の順序とカルテの重要性を挙げることができる。	講義
	2	診察の方法【医療面接・POS】	医療面接で必要な項目、身体障害の区分、チームアプローチ、チームの構成メンバー、	講義
	3	診察の方法（視診・触診・打診・聴診）	視診・触診・打診・聴診の意義と方法を説明できる。	講義
	4	バイタルサイン（体温）	体温の異常について具体的に説明できる。	講義
	5	バイタルサイン（脈拍・血圧）	脈拍と血圧の異常について説明できる。	講義
	6	バイタルサイン（呼吸）	呼吸の異常を説明できる。	講義
	7	全身の診察	診察の意義、顔貌の特徴を説明することができる。	講義
	8	全身の診察	精神状態・言語の特徴を説明することができる。	講義
	9	全身の診察	体型、栄養の状態の特徴を説明することができる。	講義
	10	全身の診察	姿勢と体位の特徴を説明することができる。	講義
	11	試験		試験
	12	試験解説	形成的評価によるフィードバックを受け、理解が足りない部分を再学習し、3年へ向けての準備する。	講義
2期	13	全身の診察	姿勢と体位、歩行の特徴を説明することができる。	講義
	14	全身の診察	皮膚、爪の特徴を説明することができる。	講義
	15	全身の診察	リンパ節・その他の状態の特徴を説明することができる。	講義
	16	神経系の診察	感覚検査の分類と特徴を説明することができる。	講義
	17	神経系の診察	感覚検査の分類と特徴を説明することができる。	講義
	18	神経系の診察	反射検査法の分類と特徴を説明することができる。	講義
	19	神経系の診察	脳神経系の検査、髄膜刺激症状検査の概要と方法および特徴を説明することができる。	講義
	20	神経系の診察	脳神経系の検査、髄膜刺激症状検査の概要と方法および特徴を説明することができる。	講義



	21	神経系の診察	その他の検査の概要と方法および特徴を説明することができる。	講義	
	22	運動機能検査	運動麻痺の分類と障害を説明することができる。	講義	
	23	試験		試験	
	24	試験解説	形成的評価によるフィードバックを受け、理解が足りていない部分を再学習し、3年へ向けての準備する。	講義	
3期	25	運動機能検査	筋肉の異常、不随意運動、協調運動および起立と歩行について説明することができる。	講義	
	26	運動機能検査	筋肉の異常、不随意運動、協調運動および起立と歩行について説明することができる。	講義	
	27	頭部・顔面の診察	頭部・顔面、眼、鼻の診かたを説明し疾患の説明ができる。	講義	
	28	胸部の診察	肺・胸膜、心臓の診かたを説明し疾患の説明ができる。	講義	
	29	腹部の診察	腹部の診かたを説明し疾患の説明ができる。	講義	
	30	背部・骨盤内臓器の診察	背部・骨盤内臓器の診かたを説明し疾患の説明ができる。	講義	
	31	四肢の診察	四肢の診かたを説明し疾患の説明ができる。	講義	
	32	その他の診察	救急時、女性、小児、高齢者の診かたの特徴を理解し、説明ができる。	講義	
	33	臨床検査、臨床心理	臨床検査、臨床心理検査の概要と意義を理解し、異常所見から疾患の説明を行うことができる。	講義	
	34	その他治療学、おもな症状の診察法	その他の治療学、おもな症状の診察法の特徴を理解し、説明ができる。	講義	
		35	試験		試験
		36	試験解説	形成的評価によるフィードバックを受け、理解が足りていない部分を再学習し、3年へ向けての準備する。	講義

## 2021年度 I 部鍼灸科

【分野】 専門分野 臨床はり学、臨床きゅう学



【科目】 臨床はりきゅう理論

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	中田智之	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	3 学期	授業形態・回数	講義	12回

### 【授業情報】

授業概要	・ 鍼灸の治効理論を理解し、最適な鍼灸治療の選択ができる能力を養う。
授業の一般目標 (GIO)	・ 鍼灸刺激が人体に及ぼす影響と、生体反応を理解する。

### 【担当教員から】

教科書	はりきゅう理論・解剖学・生理学
-----	-----------------

参考書	配布プリント等
成績評価基準	評価の観点は1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	感覚、伝導路など生理学の教科書を予習しておくこと。授業後は復習をして、疑問を先送りしないようにすること。
履修にあたっての留意点	鍼灸治療を行うために必要な知識なので、図や表にまとめるなど、自分にとってわかりやすい形にまとめること。

【授業計画】 臨床はりきゅう理論 2021年度 I 部鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			

2期	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
3期	25	体表構造(皮膚)	皮膚の構造を図示できる。(解剖学の教科書中心)	講義
	26	体性感覚(触圧覚・温度覚・深部感覚・内臓感覚)	体性感覚の刺激と受容器の関係を説明できる。	講義
	27	体性感覚(痛覚)	侵害刺激の種類と受容器の特徴を説明できる。	講義
	28	体性感覚の伝導路	温覚刺激の種類と受容器の特徴を説明できる。	講義
	29	体性感覚の伝導路	触圧刺激の種類と受容器の特徴を説明できる。	講義
	30	鍼刺激と反射	鍼灸刺激に関連する反射の基本が説明できる。	講義
	31	鍼刺激と反射	鍼灸刺激に関連する反射の基本が説明できる。デルマトームと鍼灸刺激の関連を説明で	講義
	32	鍼鎮痛	下行性痛覚抑制系について説明できる。	講義
	33	鍼鎮痛	下行性痛覚抑制系、ゲートコントロール説について説明できる。	講義
	34	鍼鎮痛・刺激と反応	下行性痛覚抑制系、ゲートコントロール、鍼灸の治療的作用について説明できる。	講義
	35	試験	1期試験	試験
36	試験解説	試験結果をフィードバックすることで理解を深める。	講義	

## 2021年度 I部 鍼灸科

【分野】

専門分野



学校法人呉竹学園

東京医療専門学校

【科目】

東洋医学の応用-1

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	船渡 真美	
単位数	3 単位		実務経験	
開講学期	1 学期 2 学期 3 学期	授業形態・回数	講義	36回

### 【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治療院勤務経験により東洋医学の臨床的な部分を具体的に教授する。</li> <li>・ 1年次に学習した東洋医学の基本事項を臨床に応用するために必要な診断、診察事項の理解、応用、更に治療法を身に付ける。</li> <li>・ 経穴の部位の解剖学的位置を身に付ける。</li> </ul>
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東洋医学的診察診断方法である、望診・問診・問診・切診の方法、意義を理解し証を立てることができる。また施術の方法とその意義と根拠を理解し臨床に用いることができる。</li> <li>・ 正経の所属経穴の解剖学的位置について理解し実際に取穴をすることができる。</li> <li>・ 臓腑の病証を理解することができる。</li> <li>・ 病証を理解し臨床に用いることができる。</li> </ul>

【担当教員から】

教科書	新版東洋医学概論 新版経絡経穴概論
参考書	
成績評価基準	評価の観点とは1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。
成績評価方法	1 学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。 2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満  成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	授業後の復習を行うこと。
履修にあたっての留意点	難解な漢字や言葉の意味などがある場合が多いので漢字辞書などを用意すると良い。スマホ・タブレットは指示に従って使用すること。

【授業計画】 東洋医学の応用-1 2021年度 I部 鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1	はじめに 前腕の陰経・陽経の経穴の部位	今年度学習する範囲を理解する。前腕の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	2	肝の病証	肝の生理から病証を理解し説明することができる。	講義
	3	心の病証	心の生理から病証を理解し説明することができる。	講義
	4	脾の病証	脾の生理から病証を理解し説明することができる。	講義
	5	肺の病証	肺の生理から病証を理解し説明することができる。	講義
	6	腎の病証	腎の生理から病証を理解し説明することができる。	講義
	7	六腑の病証/奇恒の腑の病証と関連する五臓	六腑・奇恒の腑の生理から病証を理解し臓との関係を説明することができる。	講義
	8	臓腑病証まとめ	各臓腑の病証を総合的に理解し説明することができる。	講義
	9	望診	神~舌診までの望診の概略と内容を理解し説明することができる。	講義
	10	望診	神~舌診までの望診の概略と内容を理解し説明することができる。	講義
	11	試験	1期試験	試験
	12	試験解説 問診	試験の解説を行い振り返りにより深い理解をすることができる。問診の概略と内容を理解し説明することができる。	講義
	13	下腿の陰経・陽経の経穴の部位	下腿部の経穴の部位の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	14	問診・問診	声診~気味までの問診の概略と内容を理解し説明することができる。	講義
	15	問診	各問診事項の概略と内容を理解し説明することができる。	講義
	16	問診	各問診事項の概略と内容を理解し説明することができる。	講義

2期	17	問診	各問診事項の概略と内容を理解し説明することが出来る。	講義
	18	切診	各反応～脈診までの概略と内容を理解し説明することが出来る。	講義
	19	切診	腹診・その他の概略と内容を理解し説明することが出来る。	講義
	20	切診	腹診・その他の概略と内容を理解し説明することが出来る。	講義
	21	上腕・肩周囲の経穴の部位	上腕部・下肢部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	22	大腿陰経・陽経の取穴法	大腿部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	23	試験	2期試験	試験
	24	試験解説 上肢・下肢の経穴部位のまとめ	試験の解説を行い振り返りにより深い理解をすることができる。	講義
3期	25	胸腹部の取穴法	胸腹部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	26	背部の取穴法	背部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	27	腰部の取穴法	腰部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	28	頭頸部の取穴法	頭頸部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	29	顔面部取穴法	顔面部の経穴の位置の理解と解剖学的理解をし取穴することができる。	講義
	30	要穴の説明	要穴の意味を理解し説明することが出来る。	講義
	31	奇穴(含：新穴)・組合せ穴	奇穴・新穴の部位と主治を理解し説明することが出来る。	講義
	32	奇穴(含：新穴)・組合せ穴		講義
	33	八会穴・八脈交会穴・四総穴・奇経八脈	各特殊な経穴群の意味を理解し説明することが出来る。	講義
	34	八会穴・八脈交会穴・四総穴・奇経八脈		講義
	35	試験	3期試験	試験
	36	試験解説	試験の解説を行い振り返りにより深い理解をすることができる。	講義

## 2021年度 I 部 鍼灸科

【分野】 専門分野 臨床はり学、臨床きゆう学



【科目】 東洋医学臨床論 I

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	伊藤 真悟	
単位数	2 単位		実務経験	
開講学期	1学期 2学期	授業形態・回数	講義	24回

### 【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の症状から、はき治療の適応か否かを判断する能力を養う。</li> <li>・はき施術の治効理論を学習したことをふまえ、患者にとってより良い治療を選択、提案できる能力を身につける。</li> </ul>
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症候に対し、疾患を想定し、あはき治療の適応の判断の根拠となる徒手検査および他覚的所見を理解する。</li> <li>・はき治療の適・不適の判断後の対処について習得する。</li> </ul>

【担当教員から】

教科書	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉 東洋医学臨床論〈あん摩マッサージ指圧編〉
参考書	リハビリテーション医学・臨床医学総論・臨床医学各論・新版 経絡経穴概論 配布プリント等
成績評価基準	評価の観点は1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う 期末試験で評価する。
成績評価方法	学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行 う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、 当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満 成 績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	実技で学ぶ徒手検査を見直すこと。授業後の復習を行うこと。
履修にあたっての留意点	徒手検査は、機序まで説明できるように復習すること。 スマホ・タブレットは指示に従って使用すること。

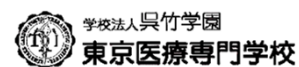
【授業計画】 東洋医学臨床論Ⅰ 2021年度 I部 鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1	総論・導入 (治療の流れ)	西洋医学と東洋医学的な考え方の違いを理解し、 適応症・治療原則を理解できる。SOAP形式の 具体例を説明できる。	講義
	2	腰下肢痛	脊髄症、神経根症、馬尾症状の鑑別ができる。	講義
	3	腰下肢痛	間欠跛行、坐骨神経痛、股関節疾患の発症機序を 説明できる。	講義
	4	腰下肢痛	腰下肢痛に対する、現代医学的、東洋医学的治療 計画を立てることができる。	講義
	5	肩こり	肩こりに対する、治療計画を立てられる。肩甲骨 周りの筋と関連経穴を書くことができる。	講義
	6	頸肩腕痛	脊髄症、神経根症の鑑別ができる。頸肩腕痛の発 症機序が説明できる。	講義
	7	頸肩腕痛	胸郭出口症候群の検査とその機序が説明できる。	講義
	8	頸肩腕痛	頸肩腕痛の現代医学的、東洋医学的治療計画を立て られる。	講義
	9	肩関節痛	肩関節の徒手検査の機序を説明できる。	講義
	10	肩関節痛	いわゆる五十肩の治療を組み立てられる。現代、 東洋医学的治療を計画を立てられる。	講義
	11	試験	1期試験	試験
	12	試験解説	試験の結果をフィードバックすることで、理解を 深める。	講義
	13	上肢痛	上肢の神経絞扼障害の発症機序を説明できる。	講義

2期	14	上肢痛	上肢の神経絞扼障害に対する、現代医学的、東洋医学的治療計画を立てることができる。	講義
	15	上肢痛	上肢の腱鞘炎に対する、現代医学的、東洋医学的治療計画を立てることができる。	講義
	16	膝関節痛	膝関節疾患の徒手検査を説明できる。	講義
	17	膝関節痛	変形性膝関節症の特徴を説明できる。膝痛の現代医学的、東洋医学的治療を計画できる。	講義
	18	運動麻痺	特に下肢の神経絞扼障害の機序を説明できる。	講義
	19	運動麻痺	脳血管障害後遺症、末梢性絞扼障害の特徴が言える。治療計画を立てられる。	講義
	20	運動性肩関節痛・上肢痛	スポーツ障害としての上肢痛の特徴を説明し、治療計画を立てられる。	講義
	21	運動性腰痛・膝痛	スポーツ障害としての腰痛、膝痛の特徴を説明し、治療計画を立てられる。	講義
	22	運動性下肢痛	足関節疾患、下腿のコンパートメント症候群の特徴を説明し、治療計画を立てられる。	講義
	23	試験	2期試験	試験
	24	試験解説	試験の結果をフィードバックすることで、理解を深める。	講義
3期	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
	31			
	32			
	33			
	34			
	35			
	36			

2021年度 I 部 鍼灸科

【分野】 専門分野 臨床はり学、臨床きゆう学



【科目】 東洋医学臨床論Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	中田智之	
単位数	2 単位		実務経験	5 年以上
開講学期	2 学期 3 学期	授業形態・回数	講義	24回

【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門基礎分野で学んだ知識を基に、疾患の成り立ち、治効機序について自ら考える力を養う。</li> <li>・ その上で、はき治療において遭遇する可能性の高い疾患の発症機序を理解させる。</li> </ul>
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はき治療で遭遇する頻度の高い疾患について、発症機序、鑑別の意義を理解する。</li> <li>・ 治効理論をもとに治療方針を組み立てる必要性を理解する。。</li> </ul>

### 【担当教員から】

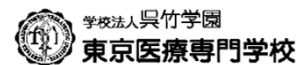
教科書	東洋医学臨床論・臨床医学総論・経絡経穴概論・東洋医学概論			
参考書	配布プリント等			
成績評価基準	評価の観点は 1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、学期末に行う期末試験で評価する。			
成績評価方法	<p>学業成績の評価は、試験の成績、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。  (1) A : 100~90点 (2) B : 89~70点 (3) C : 69~60点 (4) D : 60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>			
授業時間外必要な学修	おもに復習を行うこと。			
履修にあたっての留意点	東洋医学的に考える場合、五行の色体表、要穴表に出ている経穴の取穴部位を書けるようにすること。			
学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
1期	1	導入・各論(頭痛)	頭痛につながる、緊張性、血管性、後頭神経痛の鑑別ができる。	講義
	2	頭痛	現代医学的、東洋医学的それぞれの考えで治療方針を組み立てられる。	講義
	3	顔面痛	三叉神経のデルマトームを言える。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義
	4	顔面麻痺	中枢性、末梢性麻痺の鑑別ができる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義
	5	歯痛	歯痛、顎関節症を説明できる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義
	6	眼精疲労	眼精疲労の鑑別ができる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義
	7	鼻閉鼻汁	アレルギー性鼻炎の症状を言える。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義
	8	脱毛症	脱毛の原因を鑑別できる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義
	9	めまい	適不適の鑑別ができる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義
	10	耳鳴り・難聴	めまいと関連していることを言える。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義



	11	試験	1期試験	試験	
	12	試験解説	試験結果をフィードバックすることで、知識の確認をする。	講義	
2期	13	咳嗽・喘息	呼吸器疾患の鑑別ができる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
	14	胸痛	気胸の機序を説明できる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
	15	腹痛	適不適の鑑別ができる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
	16	悪心・嘔吐	鑑別が必要な疾患を挙げられる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義	
	17	便秘異常	便秘、下痢、交替性便秘異常の具体例を挙げ、説明できる。	講義	
	18	便秘異常	機能的便秘異常に対し、現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
	19	月経異常	女性の性周期の仕組みから機能的月経異常を説明できる。	講義	
	20	月経異常	機能的月経異常に対し、現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
	21	排尿障害	排尿困難、尿失禁を説明できる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられ	講義	
	22	E D	生理学的にE Dを説明できる。現代医学的、東洋医学的に治療方針を組み立てられる。	講義	
		23	試験	2期試験	試験
		24	試験解説	試験結果をフィードバックすることで、知識の確認をする。	講義
3期	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	31				
	32				
	33				
	34				
	35				
	36				

2021年度 I 部鍼灸科

【分野】 専門分野 臨床はり学、臨床きゆう学



【科目】 診療の組み立て

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	伊藤 真悟	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	3学期	授業形態・回数	講義	12回

【授業情報】

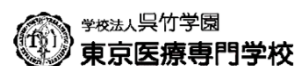


2期				
3期	1	関節と運動の力学・姿勢とその異常・ 平衡反応・連合運動と共同運動・随意運動	関節運動としてこの原理、姿勢と重心の関連、 姿勢反射、平衡反応を説明できる。	講義
	2	脊柱・体幹の機能	脊柱の動きと筋の作用について説明できる。 胸郭と呼吸の運動を説明できる。	講義
	3	上肢帯の機能	肩甲骨と肩関節の動きを説明できる。	講義
	4	上肢の機能	肘関節、手関節、手部の運動を説明できる。	講義
	5	下肢帯・下肢の機能	骨盤と股関節の関連を説明できる。膝関節、 足関節、足部の運動を説明できる。	講義
	6	正常歩行と異常歩行	正常歩行のサイクルを説明できる。歩行と重 心について説明できる。	講義
	7	関節可動域テスト	おもな関節の可動域が言える。関節可動域測 定上の注意を挙げることができる。	講義
	8	筋力テスト	MMTを言える。主な関節運動の測定方法を 説明できる。	講義
	9	頸部・胸部・上肢の徒手検査	頸部、胸部、上肢の徒手検査の陽性所見とそ の機序を説明できる。	講義
	10	腰部・下肢の徒手検査	腰部、下肢の徒手検査の陽性所見とその機序 を説明できる。	講義
	11	試験	3期の試験	試験
	12	試験解説	試験の解説。解答をフィードバックすること で知識を定着する。	講義

2021年度 I 部 鍼灸科

【分野】 専門分野 はりきゅう実技

【科目】 はりきゅう臨床実技 I



【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	二村 隆一	
単位数	2 単位		実務経験	長年の実務経験あり
開講学期	前期	授業形態・回数	講義・実技	36回

## 【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療院勤務の経験を臨床に活かす授業を行う。</li> <li>・医療面接（患者接遇などを含む）の必要性や技法などについて理解するとともに、対人練習を行う事で、円滑な医療面接が行えるよう学習をする。</li> <li>・臨床でよく遭遇する代表的な整形外科的な疾患（肩こり、頸肩腕痛、腰痛・腰下肢痛）に対して、理解を深め、診察から施術までの一連の内容を学習する。</li> </ul>
授業の一般目標（GIO）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療人として日頃から言動に気をつけ、能動時に学習に取り組む姿勢が身についている。</li> <li>・医療面接について理解し、適切に行えることを目的とする。</li> <li>・臨床でよく遭遇する肩こり・頸肩腕痛、腰痛・腰下肢痛の病態を理解するとともに、医療面接・身体診察、病態の推定を行う事ができ、それに対応した常用穴に適切に鍼灸施術を行うことができる事を目的とする。</li> </ul>
授業の到達目標（SBOs）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧、脈拍を正しく測定し、記録することができる。</li> <li>・頸肩腕痛、腰下肢痛を呈する疾患の病態（原因・分類など）を理解し、鍼灸治療の適・不適を判断し、説明することができる。</li> <li>・頸肩腕痛のモデル患者に対して適切に医療面接（患者誘導・挨拶を含む）を行い、指診や触診などにより身体所見を取ることができる。</li> <li>・頸肩腕痛のモデル患者に対して代表的な徒手検査を実践することができ、陽性所見と臨床的意義を説明することができる。</li> <li>・モデル患者に対し、7分以内に頸肩腕痛の基本的な治療穴を2か所取穴し、50mm18号鍼および40mm16号を用いて直刺（90°）および斜刺（45°）にて10mmの刺入を行うことができる。</li> <li>・腰下肢痛のモデル患者に対して適切に医療面接（患者誘導・挨拶を含む）を行い、指診や触診などにより身体所見を取ることができる。</li> <li>・腰下肢痛のモデル患者に対して代表的な徒手検査を実践することができ、陽性所見と臨床的意義を説明することができる。</li> <li>・モデル患者に対し、7分以内に腰下肢痛の基本的な治療穴を2か所取穴し、50mm18号鍼および40mm16号を用いて直刺（90°）および斜刺（45°）にて10mmの刺入を行うことができる。</li> <li>・モデル患者の左右失眠穴に、2分間で半米粒大の透熱灸を左右交互に10壮以上施灸することができる。</li> </ul>

## 【担当教員から】

教科書	
参考書	学校配布の冊子
成績評価基準	<p>評価の観点は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業中における態度、実技習得度</li> <li>2) 期末試験</li> </ol> <p>期末試験により習得度を確認するとともに、普段の授業に於いて医療人としての言動、態度、衛生管理なども加味し評価する。</p>
成績評価方法	<p>学期末試験</p> <p>授業中の態度、習得度</p>
授業時間外必要な学修	授業中に学習した取穴や解剖学的部分などを復習しておくこと。
履修にあたっての留意点	必要に応じ実技を行うに当たり支障が生じないように、短パンなどを準備しておく

## 【授業計画】 はりきゅう臨床実技Ⅰ 2021年度 Ⅰ部 鍼灸科

学期	回数	講義内容	備考	講義形態
	1	1. 授業ガイダンス、POS、POMR、SOAPIについて説明	POS、POMR、SOAP、診療録の意義 医療面接法について説明できる	講義 実技
	2	2. 医療面接、診療録の記載など説明		
	3	2. 医療面接の演習 模擬患者医療面接1	適切な医療面接ができる 適切な診療録が書ける	実技
	4			

前期	5	2. 医療面接の演習 模擬患者医療面接2	適切な医療面接ができる 適切な診療録が書ける	実技
	6			
	7	3. 腰下肢痛① 病態の理解（分類、原因、機能解剖など）、 診察の流れの全体理解、		実技
	8			
	9	3. 腰下肢痛② 医療面接、身体診察（徒手検査） 常用穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習	腰痛・腰下肢痛について 主な原因・病態を説明できる 医療面接鑑別を説明できる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	10			
	11	3. 腰下肢痛③ 医療面接、身体診察（徒手検査） 常用穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習	徒手検査法を正確にできる ランドマーク・常用穴がとれる	実技
	12			
	13	3. 腰下肢痛④ 医療面接、身体診察（徒手検査） 常用穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習		実技
	14			
	15	3. 腰下肢痛⑤ ロールプレイ形式にて、模擬患者施術を行う	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技
	16			
	17	4. 頸肩腕痛① 病態の理解（分類、原因、機能解剖など）、 診察の流れの全体理解		実技
	18			
	19	4. 頸肩腕痛② 医療面接、身体診察（徒手検査） の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習	肩こり・頸肩腕痛について 主な原因・病態を説明できる 医療面接鑑別を説明できる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	20			
	21	4. 頸肩腕痛③ 医療面接、身体診察（徒手検査） の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習	徒手検査法を正確にできる ランドマーク・常用穴がとれる	実技
	22			
	23	4. 頸肩腕痛④ 医療面接、身体診察（徒手検査） の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習		実技
	24			
	25	4. 頸肩腕痛⑤ ロールプレイ形式にて、模擬患者施術を行う	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技
	26			
	27	頸肩腕痛、腰下肢痛について、全体復習 徒手検査、取穴、刺鍼、施灸	前期に学習した内容について行うことができる	実技
	28			
	29	前期実技試験① 医療面接、徒手検査法、血圧測定	指定された課題ができる 医療面接・徒手検査法・血圧測定	実技
	30			
	31	前期実技試験② 施鍼、施灸	指定された課題ができる 施鍼・施灸	実技
	32			
	33	前期試験フィードバック	各自の不足点を理解し、改善できる	実技
	34			
	35	まとめ	まとめ	実技
	36			

2021年度 I 部 鍼灸科

【分野】 専門分野 はりきゅう実技

【科目】 はりきゅう臨床実技Ⅱ



学校法人 呉竹学園

東京医療専門学校

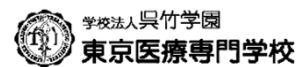
【基本情報】				
配当年次	2 学年	担当教員	二村 隆一	
単位数	2 単位		実務経験	長年の実務経験あり
開講学期	後期	授業形態・回数	講義・実技	36回
【授業情報】				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療院勤務での経験を活かし臨床における医療面接などを行う。</li> <li>・臨床でよく遭遇する代表的な整形外科的な疾患のうち、肩関節痛、膝関節痛に対して診察から施術までの一連の内容を学習する。</li> <li>・また、臨床実習前試験の為の授業として、これまで学んだ4疾患に対してロールプレイ実習を含めた臨床実践的な内容を行う。</li> <li>・東洋医学的な治療を行える能力を養うことも目的に、四診法（特に舌診、腹診、脈診）について反復練習を行う。</li> </ul>			
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療人として日頃から言動に気をつけ、能動時に学習に取り組む姿勢が身についている。</li> <li>・臨床でよく遭遇する肩関節痛・膝関節痛の病態を理解するとともに、医療面接・身体診察、病態の推定を行う事ができ、それに対応した基本穴に適切に鍼灸施術を行うことができる事を目的とする。</li> <li>・また、四診法（特に舌診、腹診、脈診）について反復練習することで感覚を養う。</li> </ul>			
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肩関節痛、膝関節痛を呈する疾患の病態（原因・分類など）を理解し、鍼灸治療の適・不適を判断し、説明することができる。</li> <li>・肩関節痛のモデル患者に対して適切に医療面接（患者誘導・挨拶を含む）を行い、指診や触診などにより身体所見を取ることができる。</li> <li>・肩関節痛のモデル患者に対して代表的な徒手検査を実践し、陽性所見と臨床的意義を説明することができる。</li> <li>・モデル患者に対し、7分以内に肩関節痛の基本的な治療穴を2か所取穴し、50mm18号鍼および40mm16号を用いて直刺（90°）および斜刺（45°）にて10mmの刺入を行うことができる。</li> <li>・膝関節痛のモデル患者に対して適切に医療面接（患者誘導・挨拶を含む）を行い、指診や触診などにより身体所見を取ることができる。</li> <li>・膝関節痛のモデル患者に対して代表的な徒手検査を実践し、陽性所見と臨床的意義を説明することができる。</li> <li>・モデル患者に対し、7分以内に膝関節痛の基本的な治療穴を2か所取穴し、50mm18号鍼および40mm16号を用いて直刺（90°）および斜刺（45°）にて10mmの刺入を行うことができる。</li> <li>・モデル患者の指定された部位（頸肩腕痛、腰下肢痛、肩関節痛、膝関節痛に対する治療穴のうち1穴）を取穴し、2分間で半米粒大の八分灸を6壮以上施灸することができる。</li> <li>・東洋医学の診察（四診法）のうち、特に舌診、腹診、脈診の基本を理解し、概説することができる。</li> </ul>			
【担当教員から】				
教科書				
参考書	学校配布の冊子			
成績評価基準	<p>評価の観点は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業中における態度、実技習得度</li> <li>2) 期末試験（臨床実習前試験）</li> </ol> <p>期末試験により習得度を確認するとともに、普段の授業に於いて医療人としての言動、態度、衛生管理なども加味し評価する。</p>			
成績評価方法	<p>学期末試験 授業中の態度、習得度</p> <p>学期末試験は、3年次に行う臨床実習Ⅲ・Ⅳの「臨床実習前試験」を兼ねるため、前期のほりきゅう臨床実技Ⅰの履修内容も含めた総合評価を実施する。</p>			
授業時間外必要な学修	授業中に学習した内容を復習しておくこと。			
履修にあたっての留意点	必要に応じ実技を行うに当たり支障が生じないように、短パンなどを準備しておく			

【授業計画】 はりきゅう臨床実技Ⅱ 2021年度 I部 鍼灸科

学期	回数	講義内容	到達目標(SBOs)	講義形態		
後期	1	5. 肩関節痛① 病態の理解(分類、原因、機能解剖など)、 診察の流れの全体理解、施鍼、施灸	肩関節痛について 主な原因・病態を説明できる 医療面接鑑別を説明できる 徒手検査法の意義を説明できる 徒手検査法を正確にできる ランドマーク・基本穴がとれる 基本穴に適切な施鍼・施灸ができる	講義 実技		
	2					
	3	5. 肩関節痛② 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習		実技		
	4					
	5	5. 肩関節痛③ 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習		実技		
	6					
	7	5. 肩関節痛④ 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習		実技		
	8					
	9	6. 膝関節痛① 病態の理解(分類、原因、機能解剖など)、 診察の流れの全体理解、施鍼、施灸		膝関節痛について 主な原因・病態を説明できる 医療面接鑑別を説明できる 徒手検査法の意義を説明できる 徒手検査法を正確にできる ランドマーク・基本穴がとれる 基本穴に適切な施鍼・施灸ができる	講義 実技	
	10					
	11	6. 膝関節痛② 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習			実技	
	12					
	13	6. 膝関節痛③ 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習			実技	
	14					
	15	6. 膝関節痛④ 医療面接、身体診察(徒手検査) 基本穴の取穴、刺鍼、施灸、血圧測定、失眠施灸練習			実技	
	16					
	17	5. 肩関節痛 6. 膝関節痛 ロールプレイ 医療面接・徒手検査法にて病態の推定まで			ロールプレイ形式で一連の身体診察ができる	実技
	18					
	19	7. 東洋医学的な鍼灸治療 (1)東洋医学的な診断、(2)脈診 (4)要穴取穴 a. 下肢陰経			東洋医学的な診断法を説明できる 脈診、腹診、舌診の方法を行える 脈の変化を感じることができる 下肢陰経の要穴の取穴ができる	実技
	20					
	21	7. 東洋医学的な鍼灸治療 (2)脈診 (4)要穴取穴 b. 下肢陽経			脈診、腹診、舌診の方法を行える 脈・腹、舌の変化を感じることができる 下肢陽経の要穴の取穴ができる	実技
	22					
	23	7. 東洋医学的な鍼灸治療 (2)脈診 (4)要穴取穴 c. 上肢陰経 d. 上肢陽経			脈診、腹診、舌診の方法を行える 脈・腹、舌の変化を感じることができる 上肢陰経・陽経の要穴の取穴ができる	実技
	24					
	25	前期・後期全般の復習① 実技総合試験の確認・復習			前後期の学習内容ができる	実技
	26					
	27	後期実技試験①(臨床実習前試験を兼ねる) 医療面接、身体診察、病態の推定			指示された課題ができる【本専共通】 医療面接、身体診察、病態の推定	試験
	28					
	29	後期実技試験②(臨床実習前試験を兼ねる) 施鍼、施灸			指示された課題ができる【本専共通】 施鍼、施灸	試験
	30					
	31	7. 東洋医学的な鍼灸治療 (3)内科疾患 ①腹痛			東洋医学的な考えで腹痛治療を考えられ、施鍼・施灸 ができる 脈・腹、舌の変化を感じることができる	実技
	32					
	33	7. 東洋医学的な鍼灸治療 (3)内科疾患 ②眼精疲労			東洋医学的な考えで眼精疲労の治療を考えられ、施 鍼・施灸ができる 脈・腹、舌の変化を感じることができる	実技
	34					

35	7. 東洋医学的な鍼灸治療	東洋医学的な考えで鼻閉・鼻汁の治療を考えられ、 施鍼・施灸ができる 脈・腹、舌の変化を感じることができる	実技
36	(3) 内科疾患 ③鼻閉・鼻汁		

## 2021年度 I 部 鍼灸科



【分野】 専門分野 はりきゅう実技

【科目】 はりきゅう臨床実技Ⅲ

### 【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	林 信治	
単位数	2 単位		実務経験	長年の実務経験あり
開講学期	前期・後期	授業形態・回数	講義・実技	36回

### 【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治療院勤務経験により臨床に即した実技を行う。</li> <li>・ 医療面接（患者接遇などを含む）の必要性や技法などについて理解するとともに、対人練習を行う事で、円滑な医療面接が行えるよう学習をする。</li> <li>・ 臨床でよく遭遇する代表的な整形外科的な疾患（肩こり、頸肩腕痛、腰痛・腰下肢痛）に対して、理解を深め、診察から施術までの一連の内容を学習する。</li> </ul>
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はりきゅう臨床実技Ⅰ・Ⅱで学ぶ基本的な内容について、より理解を深め、臨床力の向上を図る。</li> <li>・ スムーズな一連の鍼灸施術を行うことができる。</li> </ul>
授業の到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 腰下肢痛、頸肩腕痛、膝痛、肩痛について、模擬患者施術を行うために以下の事ができる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑別診断するために必要な情報を適切に聴取できる。</li> <li>・ 適切な身体診察法ができる。</li> <li>・ 診察内容から、適切な治療計画（治療方針・処方例）を立て説明できる。</li> <li>・ 治療を実施できる。</li> </ul> </li> <li>・ POSに基づいて診療録の作成ができる。</li> <li>・ 東洋医学的な診察の基礎舌診、腹診、脈診の基本ができる。</li> </ul>

### 【担当教員から】

教科書	
参考書	
成績評価基準	<p>評価の観点は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業中における態度、実技習得度</li> <li>2) 期末試験（臨床実習前試験）</li> </ol> <p>期末試験により習得度を確認するとともに、普段の授業に於いて医療人としての言動、態度、衛生管理なども加味し評価する。</p>
成績評価方法	<p>学期末試験 授業中の態度、習得度</p>
授業時間外必要な学修	授業中に学習した内容を復習しておくこと。
履修にあたっての留意点	必要に応じ実技を行うに当たり支障が生じないように、短パンなどを準備しておく



【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標 (SBOs)	講義形態
前期	1	1. 授業ガイダンス、2. (1) 医療面接について説明	医療面接について説明できる	実技
	2	2. (2) 医療面接の演習・診療録について	正確にメモを取り、要約・確認ができる	実技
	3	4. (1) 腰下肢痛の病態理解・診察・治療の全体像	病態把握、診察手順が説明できる	実技
	4	4. (2) 腰下肢痛の徒手検査練習	徒手検査法が正確にスムーズにできる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	5	4. (2) 腰下肢痛の徒手検査練習		実技
	6	4. (3) 腰下肢痛の刺鍼・施灸（治療例などを参考）	腰背殿部の施鍼・施灸ができる	実技
	7	4. (4) 腰下肢痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の身体診察ができる	実技
	8	3. (1) 頸肩腕痛の病態理解・診察・治療の全体像	病態把握、診察手順が説明できる	実技
	9	3. (2) 頸肩腕痛の徒手検査練習	徒手検査法が正確にスムーズにできる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	10	3. (2) 頸肩腕痛の徒手検査練習		実技
	11	3. (3) 頸肩腕痛の施鍼・施灸練習（治療例などを参考）	頸肩部の施鍼・施灸ができる	実技
	12	3. (4) 頸肩腕痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の身体診察ができる	実技
	13	2. (2) 医療面接の演習	正確にメモを取り、要約・確認ができる	実技
	14	前期復習：医療面接、身体診察	前期で学習した事ができる	実技
	15	前期復習：施鍼・施灸		実技
	16	前期試験：頸肩腕痛、腰下肢痛の鑑別 医療面接・徒手検査・病態の推定	前期試験	試験
	17	試験のフィードバック、復習	各自の不足点を理解し、改善できる	実技
	18	前期復習	前期全範囲の復習を行う。	実技
後期	19	5. (1) 肩関節痛の病態理解・診察・治療の全体像	病態把握、診察手順が説明できる	実技
	20	5. (2) 肩関節痛の徒手検査練習	徒手検査法が正確にスムーズにできる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	21	5. (3) 肩関節痛の刺鍼・施灸（治療例などを参考）	肩関節部の施鍼・施灸ができる	実技
	22	5. (4) 肩関節痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の身体診察ができる	実技
	23	6. (1) 膝関節痛の病態理解・診察・治療の全体像	病態把握、診察手順が説明できる	実技
	24	6. (2) 膝関節痛の徒手検査練習	徒手検査法が正確にスムーズにできる 徒手検査法の意義を説明できる	実技
	25	6. (3) 膝関節痛の刺鍼・施灸（治療例などを参考）	肩関節部の施鍼・施灸ができる	実技
	26	6. (4) 膝関節痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の身体診察ができる	実技
	27	前後期の復習：主要4疾患の診察～施術まで	前後期で学習した事ができる 医療面接、各疾患の病態理解、鑑別 徒手検査法、基本穴の取穴・施鍼・施灸	実技
	28	前後期の復習：主要4疾患の診察～施術まで		実技
	29	前後期の復習：主要4疾患の診察～施術まで		実技
	30	前後期の復習：主要4疾患の診察～施術まで		実技
	31	後期試験：肩関節痛、膝関節痛の鑑別 医療面接・徒手検査・病態の推定	後期試験	試験
	32	試験のフィードバック	各自の不足点を理解し、改善できる 指示された事ができる	実技
	33	3. (4) 頸肩腕痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技
	34	3. (4) 頸肩腕痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技

35	4. (4) 腰下肢痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技
36	4. (4) 腰下肢痛のロールプレイ	ロールプレイ形式で一連の施術ができる	実技

2021年度 鍼灸科

【分野】

専門分野 臨床実習



【科目】

臨床実習Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員		
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	前後期	授業形態・回数	講義・演習	24回

【授業情報】

授業概要	<p>・臨床実習Ⅱでは臨床実践を通して、あはき治療以外の施術所業務などを学習するとともに、診察技能の習得、レベルの向上を図ることを目的とする。前期は医療面接を後期には医療面接・身体診察内容から病態の推定・治療方針・選穴を考える。また、臨地実習にて、学外施術所におけるの施術見学および業務体験を行う。また、医療施設、スポーツ、介護施設等の臨床現場を見学する事で、医療人として幅広い視野を育てるとともに、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師としての役割や将来像を主体性をもって考える機会を与える。</p>
授業の一般目標 (GIO)	<p>・2年次の座学や実技で学習する医療面接、身体診察法について、附属施術所にて患者に対し実践することで、授業では学習しにくい医療面接における傾聴や共感、質問法による病態の絞り込み、信頼関係を構築するコミュニケーション能力、適切な身体診察法の選択や実施の難しさと重要性を理解する。          ・病態の推定や治療を考える事で、診察での情報収集の大切さや目的を理解させる。          ・SOAPに沿った診療録 (POMR) を記載することで治療の振り返りを行い、気づきを促し今後の能力向上に努める。          ・学内・学外にてあはき施術所の業務体験を行う事で治療以外の業務の大切さを理解する。</p>

【担当教員から】

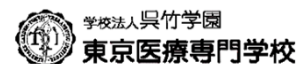
教科書	
参考書	
成績評価基準	<p>成績評価の基準と算定方法 (評価割合)          総合的に判断して60点以上 (100点満点中) を合格点とする。          1. 出席率          2. 課題レポート (実習記録、デイリーノート、振り返りノートの評価)          3. 実習中の態度・取り組む姿勢など (実習指導者による評価)</p>
成績評価方法	<p>・学内：課題レポート (実習記録) による評価          ・学外：臨地見学実習レポート (デイリーノート、振り返りノート) 実習指導者による評価表</p> <p>2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。          (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満 成績評価の基準と算定方法</p>
授業時間外必要な学修	
履修にあたっての留意点	必要に応じ実技を行うに当たり支障が生じないように、短パンなどを準備しておく

【授業計画】 臨床実Ⅱ 2021年度 鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標 (SBOs)	講義形態
	1	業務基礎実習	施術所の業務について理解できる	講義 実習
	2	施術所業務実習	・ 附属施術所での一般業務について円滑に行う事ができる	
	3			
	4	学外実習2 ガイダンス	学外実習について必要な事を理解する事ができ	
	5	学外臨地実習2-1 治療院での業務実習	・ 時間に厳守で行動することができた ・ 臨床実習指導者と適切にコミュニケーションをはかり、指示通りに行動することができた ・ 一般のあはき治療院で一般業務について理解し行う事ができる	実習
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	学外臨地実習2-2 医療機関などでの見学実習	・ 医療機関などで、あはき師が行う業務内容を理解する事が出来る。 ・ 指導者の指示に従い、行動することができる	実習
	11			
	12	学外臨地実習2-3 医療機関などでの見学実習	・ 医療機関などで、あはき師が行う業務内容を理解する事が出来る。 ・ 指導者の指示に従い、行動することができる	実習
	13			
	14	臨床実習1-1：教員主導型での実践実習	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる	実習
	15			
	16	臨床実習1-2：教員主導型での実践実習	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる	実習
	17			
	18	臨床実習1-3：教員主導型での実践実習	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる	実習
	19			
	20	臨床実習2-1：学生主体型での実践実習 医療面接、身体診察、病態把握の推定を主に行う	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる ・ 病態を推定し、治療方針を関会えることができる	実習
	21			
	22	臨床実習2-2：学生主体型での実践実習 医療面接、身体診察、病態把握の推定を主に行う	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる ・ 病態を推定し、治療方針を関会えることができる	実習
	23			
	24	臨床実習2-3：学生主体型での実践実習 医療面接、身体診察、病態把握の推定を主に行う	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる ・ 病態を推定し、治療方針を関会えることができる	実習
	25			
	26	臨床実習2-4：医療面接、身体診察、病態把握、治療方針の決定を主に行う、学生主体型実習	・ 適切に医療面接を行う事ができる ・ 適切に身体所見をとる事ができる ・ 病態を推定し、治療方針を関会えることができる	実習
	27			
	28			
	29			
	30			

31		
32		
33		
34		
35		
36		

2021年度 I 部鍼灸科



【分野】 専門分野

【科目】 研究基礎

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	萱間洋平	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	1学期	授業形態・回数	講義	12回

【授業情報】

授業概要	研究の意義と研究の基礎知識を学び、論文抄読発表を通じ研究プロセスの一部を体験する。
授業の一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究の意義について理解し、その考え方を日常生活レベルで実践できるようにする。</li> <li>・ 鍼灸に関する研究の論文検索を通じて、情報処理能力を身につける。</li> <li>・ 鍼灸研究の論文紹介の演習により、研究発表の方法について学ぶ。</li> <li>・ 演習により身につけた知識・方法を活用して鍼灸について患者さんへ説明するためのツールを作成する。</li> </ul>

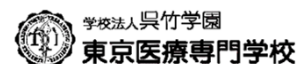
【担当教員から】

教科書	配布資料等
参考書	適宜提示する。
成績評価基準	演習における態度、成果、提出物により評価する。



3期			

2021年度 I 部 鍼灸科



【分野】 専門分野

【科目】 災害と鍼灸・開業支援

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	藤田洋輔、他	
単位数	1 単位		実務経験	
開講学期	1学期	授業形態・回数	講義	12回

【授業情報】

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校および大学卒業者は学生時代での様々な経験（部活動、アルバイト、ボランティア活動など）を通じた経験、社会人経験者は社会人経験も踏まえ、キャリアシート等を用いて自己理解を図り、現時点における将来像を考える。</li> <li>・ 鍼灸師の将来展望について、多様な職域（療養費含）を解説する。</li> <li>・ 開業希望者、就職希望者に関わらず、施術所経営の上で知るべき知見を解説する。</li> <li>・ 災害の実際と災害時における鍼灸師の役割について解説する。</li> <li>・ 災害時および平時の医療者教育として救急救命演習を行い、一般市民による心肺蘇生法（BLS）および除細動（PAD）を学ぶ。</li> </ul>
授業の一般目標（GIO）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身の経験について振り返り（人生の棚卸し）、自己理解を行うことができる。</li> <li>・ 多様な鍼灸師の職域（療養費含む）を理解する。</li> <li>・ 他職種連携の上で医療者、鍼灸師としての災害ボランティア活動内容を理解する。</li> <li>・ BLSおよびPADを学び、救急救命処置が出来るようになる。</li> <li>・ 自己理解および多様な鍼灸の職域を知り、現時点での将来像を未来履歴書として具体化できる。</li> </ul>

【担当教員から】

教科書	なし
-----	----

参考書	はじめての鍼灸マッサージ治療院開業ベーシックマニュアル（医道の日本社） 多職種連携で支える災害医療（医学書院）
成績評価基準	評価の観点とは1) 授業の理解と表現 2) 知識の浸透度と理解度とし、提出レポートにて評価し、平常点（態度、積極的な参加状況等）も加味する。
成績評価方法	学業成績の評価は、レポートの評価および履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、授業時間数における出席時間数の割合が別に定める水準に達しない者は、当該科目について評価を受けることができない。  2 成績評価の基準は次のとおりとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1) A：100～90点 (2) B：89～70点 (3) C：69～60点 (4) D：60点未満 成績評価の基準と算定方法
授業時間外必要な学修	
履修にあたっての留意点	

### 【授業計画】 災害と鍼灸・開業支援 2021年度 I部 鍼灸科

学期	回数	講義内容	行動目標（SBOs）	講義形態
1期	1	【講義1】 ガイダンスおよびキャリアシートの作成とキャリアの理解	キャリアシートを作成し、自己理解に繋げる。	講義（GW）
	2	【講義2】 施術所における鍼灸臨床①	多様な鍼灸師の職域を知り、自身の将来展望を図れる。	講義
	3	【講義3】 施術所における鍼灸臨床②	多様な鍼灸師の職域を知り、自身の将来展望を図れる。	講義
	4	【講義4】 施術所における鍼灸臨床③	多様な鍼灸師の職域を知り、自身の将来展望を図れる。	講義
	5	【講義5】 災害医療と鍼灸師の活動の理解	災害医療現場における鍼灸師の活動内容を理解し、概説できる。	講義
	6	【演習1】 普通救命講習	一般市民による心肺蘇生法（Basic Life Support）およびPublic Access Defibrillationの概要を理解し、実践することができる。	講義
	7	【演習1】 普通救命講習		演習
	8	【講義6】 施術所運営および開業の理解①	施術所における経理経営などの運営、開業に必要な知識の理解ができる。	講義
	9	【講義7】 施術所運営および開業の理解①	施術所における経理経営などの運営、開業に必要な知識の理解ができる。	
	10	【講義8】 保険（療養費）制度の理解	はり、きゅうの施術における療養費（保険）制度の概要と、その運用について理解し概説できる。	講義（GW）
	11	【演習9】 将来展望の理解（未来履歴書の作成）	目標達成シートを作成し、自己将来像の想定、未来設計を行う事ができる。	試験
	12	将来展望のディスカッション	自己将来像についてディスカッションを行い、自身の視野を広げる事ができる。	講義（GW）
13				

2期	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
3期	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
	31			
	32			
	33			
	34			
	35			
	36			